



よこはま プロバス通信

№16

2015年6月発行

<http://yokohama1probus.web.fc2.com/TR3.html>

ユーチューブチャンネル purobusyokohama

情報委員会・編集委員

情報委員会所在地：横須賀市湘南鷹取

1-32-14 電話 046-865-1329

2015年(平成27年)6月12日発行

横濱プロバス倶楽部

平成27年5月

15周年記念旅行会は大盛況でした！！

今度の旅行会は大盛況で、参加者全員が二日間交流して親睦を深めることが出来ました。プロバス倶楽部の目的と団結を共有した、次の20周年に向けた力強い第一歩となりました。

15周年記念実行委員長 松下 尚雄

日時 5月21日(木)～22日(金) 1泊2日間

2日間往復貸し切りでサロンバスを使用。

行先 群馬県利根郡みなかみ 宿泊：水上温泉 水上館

参加者 19名 (当初24名申し込み)

21日(木) 集合 7:40

幹事は7時20分集合して、コンビニに予約し冷やしてある飲料水をバスに積み込んだ。張り切って7時前に来た実行委員長もいれば、8時5分

前に乗車した会員まで、参加者19名(直前に、2名不参加)が揃い、倶楽部ブルゾンを着用して、8時に予定通り出発。



一日目の行程 【8:00】横浜駅西口天理ビル前発—新道・東名・圏央—関越—水上IC—【13:00】谷川岳ドライブイン昼食—谷川岳ロープウェイ 【16:00】水上館着 自由行動【18:00～】夕食・懇親会 二次会

快晴。出発早々から、渋滞が続き新道から東名に入る上川井が遠く、また東名に入っても海老名まで渋滞で1時間のロスが生じた。しかし、車内はサロンを中心に好みの飲食物を摂りながら、カラオケや会長のうんちく等も含めて大きな談笑の輪が広がって時間の発つのも忘れる程だった。

1時間遅れの谷川岳ドライブインの昼食は、赤城牛が美味しくウエイトレスさんも素敵で、全員皆超満足。次に谷川岳ロープウェイの土合口(標高746m)まで向かい、ロープウェイで天神平駅(1319m)まで10分、約570mの高さを上った。かなり残雪が多かった。そこから、リフトで天神峠駅(1502m)まで7分、約180m上ったが、リフトの下を見ると、残雪から雪解け水が

音を立て流れ、雪が消えている地面には小さな露の葉が、湿地には水芭蕉も咲いていた。天神平、天神峠からの澄み渡った遮るものの無い眺望。残雪の残る谷川岳の神々しい山並みに、感動した、感動したと繰り返す会員もいた。谷川岳は厳しい地形と気象で遭難者が多いことで知られているが、険しさを微塵も見せない美しい姿だった。しかし、持田さんの兄が40年も前に遭難されたことを伺って、合掌。

水上館に到着後、18時の夕食までの間、各自自由行動。幹事は、車内の飲食物が予想以上に少なくなっていたので、二次会と翌日に備えて買い出し。

夕食・懇親会は定刻に始まり、会長の挨拶、乾

杯後しばらく食事を摂りながら懇談。いよいよ平野氏の司会でカラオケ等隠し芸大会が始まり、会長も含めみんなが披露。目を閉じていると、砂糖をまぶした様な甘い声の貴公子？の司会に、それに応える20代～30代？の女性の歌声など。名司会者の下、全員が弾けて歌に踊りに大盛り上がりだった。中でも女性達がパワフルだった。

りだった。中でも女性達がパワフルだった。

二次会は幹事部屋で21時から。飲み食べながら、多岐に亘る話題で侃々諤々。とにかく昨年入会した仲間の声の大きかったこと！

終了は24時を回っていた。

（谷川岳を背景）



水上温泉 水上館

水上館では、各種の風呂が楽しめ、特にこの季節は、新緑の美しい眺めの露天風呂を堪能できた。そして部屋の窓からは、眼下に利根川の清流や空高く残雪に輝く谷川岳が一望できた。

22日（金）

二日目の行程 【9:30】ホテル発 道の駅「水紀行館」—月夜野びーどろパーク・ガラス工作体験と昼食（10:30～13:00）—関越・川越 IC—小江戸・川越散策（15:30～16:00）—環八・第3京浜—【18:15】横浜駅西口着 解散



（車内風景）

今日も快晴。時間通りホテルを出発し、5～6分で道の駅。30分程度買い物時間をとって、次の月夜野びーどろパークへ。ガラス工作体験では、①透明ガラスコップにシールを貼って、その上から研磨砂を吹き付け、シール面だけ透明で残す。17名参加。②透明ガラス板に絵付けする。2名参加。シールを貼る前、貼らない面を取り除く細かい作業があり、みんな難渋したもの、それぞれ自信作を造ることが出来た。絵付けを選択した会員は、2名とも見事な谷川岳を描いていた。工場見学の後、11時半から昼食はパーク内の地ビール&レストランで。ここでちょっとしたハプニング。実行委員長がウエイトレスへ注文した際、4種類の地ビールの依頼内容を店側が誤解したため、4種類のピッチャーが各テーブルに出てきた。12時半に食事は終了予定だったが、

30分延長して飲み飲んだが、飲み残しが出たのは残念だった。レストランを出て空を仰ぐと、太陽の光が輪のように反射する珍しい「日がさ」と呼ばれる現象が出現していてびっくり。そこから川越に着く間、昼食のビールの影響で、予定になかったトイレ休憩を2回も増やすことになった。そこで、帰宅時間を考慮して小江戸散策2時間の予定を総意で30分に短縮。川越駅で3名が下車。帰りの車内では、カラオケで合唱やサロンで飲みながら談笑等最後までにぎやかに過ごした。松下添乗員、2日間のサービスご苦労様。ほぼ予定通りの時間に横浜到着。

いろいろご配慮いただいた旅行会社の川崎社長、バス運転手の佐々木さんありがとうございました。

参加メンバー 19名 (敬称略)
青木、岩城、岡、加藤道、加藤豊、神谷、須藤、關、関口、東野、富永、中村、樋口、平野、保谷、松下、宮川、持田、森山、

本年の 例会・理事会要旨 (2月・3月・4月・5月) を掲載

2月例会 (第158回 27名参加)

(2月13日 進交会館)

会長挨拶 今年は当倶楽部設立15周年。全国にも20・15・10周年を迎えるクラブがいくつかある。私は全日本の会長として連絡を取って、いろいろ意見交換して、それぞれいい事業が出来るような仕組みにしていきたい。



会員紹介等 新会員の持田久次氏と鈴木武道氏(欠席)を紹介。

誕生月お祝い品贈呈 2月誕生 乙幡 重治氏 西山 節雄氏 乙幡氏 西山氏

一口スピーチ 乙幡氏: 今月26日90歳になる。永い人生に感謝している。西山氏: 節分の日に生まれたが、とても歳の数だけの豆は食べられない。90歳の人をまねて頑張っていきたい。

会務報告 (1) 各委員会報告 **例会委員会**から、1月20日パソコン勉強会場に退会した佐藤博氏の奥さんが訪れ、退会の挨拶と金一封等が託された。 **会員委員会**から、①岩城孝子氏が男女参画貢献表彰を授与されることが広報よこはまに掲載された。3月26日が表彰式。会員の榮譽を一同で祝福。②4月から横浜を舞台としたNHKの朝ドラ「まれ」が放映される。能登半島からパテシエ修行に出てきた女性の話に、ご当地横浜市も応援。

情報委員会から、2月発行「よこはまプロバス通信No.15」を配布。印刷費用節約のためPDF送信での可否を問うたところ、10名の会員が応じた。(岩田、岡、荻原、須藤、関口、高橋、富永、西山、松下、宮川 各氏) (2) **理事会協議等報告**から、*相生2月末閉店の経緯を小磯氏から説明。*15周年記念の一泊旅行計画を松下氏から説明。多くの方に参加して頂く観点から検討した。まず、年配者の負担軽減のため貸し切りバス、料理がおいしく寛げる施設、これまで海沿いが多かったので山側(水上を提案)、で旅行社と相談している。日程は5月21~22日で決定。5月8日の定例例会は予定通り開催。

(3) **全日本プロバス協議会** 全日本常任理事会を今月28日4時から開催。全日本の幹事は出席を。

同好会活動報告 にこにこコバンザメ、あるこう会、旅行会、は特になし。

ゴルフOB会 3月16日神奈川県プロバスクラブ交流ゴルフコンペを行う。横濱、横須賀、鎌倉、川崎西、横浜グリーンの5クラブから31名が参加する。場所は太平洋クラブ相模コース。この交流コンペは年2回、幹事は持ち回りで次回は鎌倉を考えている。なお、当倶楽部常任理事の青木氏からコンペに対して優勝カップ(青木杯)の贈呈の予定。カラオケ同好会 例会終了後パラダイスで実施。

パソコン同好会 今月は17日県民センター、3月は17日で場所は未定。 **釣り同好会** 参遊会会長からの指示で、昨年同様5月に野島公園でイベントを計画。

事務局報告 全国総会収支の詳細を説明。収入・支出内容について質問があった。決算は過不足なく報告できる見込み。

2月理事会 13名出席

(平成27年2月20日進交会館)

* 例会会場変更に伴う昼食の取扱い・・・進交会館で食事をする場合は仕出しが原則。

* 特別放談 3月は宮川会員紹介の 畷 信彦氏

* 15周年記念事業・・・移動例会と親睦旅行会を1泊2日水上温泉で実施。

日時 5月21~22日 参加費 30.000円、倶楽部補助200.000円支給。 等々

* 新会員加入承認・・・持田久次氏 本日欠席。(加藤豊氏の紹介) 理事会全員一致

3月例会

(第159回 24名参加)

(3月13日 相生会館)

会長挨拶 特別放談のため来所した寫講師に謝辞を述べながら挨拶。

会員紹介 中村会長から、新会員の鈴木武道・持田久次両氏にプロバスバッジを授与。また併せて倶楽部作製ブルゾンが渡された。

(鈴木氏)



(持田氏)

会務報告 (1) 各委員会報告 例会委員会 特になし(宮川副委員長から) 会員委員会 3月誕生月該当者なし 情報委員会 特になし (2) 理事会協議及び決定事故委報告 (關幹事)

① 総会に規約改正案をかける。 ② 15周年記念行事に会から20万円の補助の支出が内定。

(3) 15周年旅行行事報告 (松下実行委員長)

- ・楽しい旅行会にするため、往復バス内は平野会員が司会進行を行う。
- ・参加人員は今日現在で22人。 ・バスは28人乗りのサロンバス。
- ・会から20万円の補助及び五所川原の残金2万円余の残金を充当する。(理事会決定)

(4) 全日本プロバス協議会 (森山幹事長)

2月28日全日本プロバス協議会の常任幹事会を中村会長を中心に開催。その中で、全国総会では横濱の皆さんにお世話になり、立派にできたことに感謝の言葉があった。また、今年の秋には理事会を開く予定となっている。

(5) 同好会活動報告 (松下参遊会会長)

にこにこサロンが久しぶりに4月例会後、荻原幹事の下で行う。8月も計画する。あるこう会、旅行会共予定なし。ゴルフOB会が当番で、3月16日神奈川県プロバス交流ゴルフコンペが5クラブ28人参加で行われる。カラオケ同好会は富永幹事が体調を崩し入院しているので宮川氏が代行。本日例会終了後希望があれば開く。来月は実施する。パソコン同好会は3月17日(火)牧先生も参加して県民センターで、終了後新年会を行う。釣り同好会は野島公園のバーベキュー大会を5月中に計画したい。にこにこコバンザメは今後コバンザメと称する。予定なし。

(6) 事務局報告 (小磯 事務局)

欠席者の動向報告。クラブの会合はしばらく進交会館でおこなう。

3月理事会 12名出席 (平成27年3月20日進交会館)

- * 15周年記念行事の件・・・現在の参加申し込み22名。支出は、傷害保険等諸々含めて 一人21,726円、×22名分で477,972円、観光バスの経費(高速代等含む)272,950円でトータル750,922円。収入は参加費30,000円、×22名分で660,000円、補助200,000円、五所川原20,000円、合計880,000円。差引約130,000円となるが、他にカラオケ、往復車内飲食経費等に充当する。
- * 4月誕生月会員・・・誕生記念品の残品はクリスマス会の景品にする。(決定)
- * 会則変更の件・・・会則変更は総会に諮る。改正原案は出来ている。例えば、会員の推薦者は一人でもいいとか、名誉会員の新設(90歳以上、会員期間25年)、加入年齢は60歳のままでいくが例外は認める等々。

(4月10日 進交会館)

会長挨拶 天皇・皇后両陛下の慰霊の旅から

今から56年前の4月10日は祝日になった。今上天皇、皇后陛下のご成婚の日だった。この日を目指してテレビが普及し、前の晩まで、電気屋さんが大忙しとの話だった。このおめでたい結婚記念日を前にして、お二人は昨日一昨日と太平洋戦争で激戦地となったパラオ諸島へ慰霊の為に、老躯にムチ打って、日本国民に代ってお参りをしてくださったことはテレビや新聞でご覧になった通り。パラオということ久しぶりに聞いた方もいると思う。横浜の山手に横浜学園があるが、その先生に中島敦がいた。若くして素晴らしい文章を書き、もっと長く生きていれば、立派な小説をもっと書いたに違いない。彼は学園に居る間に結核になり、転地療養先に選んだのがパラオ諸島だった。そこで彼は小説も書き、海洋生物の研究もしていたが、年齢37歳で亡くなった。学園では有名な彼を偲んで毎年追悼している。横浜にわずかな期間籍を置いて、横浜の女学生を指導したという人と、パラオとの関係をあらためて思い出した。天皇・皇后両陛下の慰霊の旅については、新聞、テレビにもずいぶん詳細に報道されている。今日はたまたま第160回の例会が、お二人のご結婚記念日にあたったということで、多少なりとご紹介させて頂いた。今日もいろいろあるので、十分なご討議をお願いしたい。

**ゲスト紹介** 山手ロータリークラブ会長 近藤 眞江氏から挨拶を頂いた。

今日中村会長のお話をお聞きして、これは毎度伺って、いろいろ知識を広くした方がいいのではないか、と思いました。今後もお邪魔させて頂きますのでよろしく。

誕生月お祝い品贈呈 4月誕生3名 宮川清彦、平山秀樹、須藤照夫の各氏 (宮川、平山、須藤各氏が、謝辞を兼ねて一口スピーチを行った。) 本日ゲストの近藤会長も4月誕生なので、一緒に祝福。

各委員会報告 **例会委員会**・富永委員長から入院等による危機的状況の話と一ヶ月不在のお詫びがあった。**会員委員会**・加藤委員長から「横浜市男女共同参画貢献表彰の推進賞」を受賞された岩城孝子会員を紹介。岩城氏が、44年間不動産業界で地域に密着した事業を展開し、地域振興と発展に貢献した。宅建協会初の女性支部長として約500名の会員を統括し、また初の女性常務理事に就任し、会員の指導育成に取り組んだ等々高く評価され受賞。3月26日ワークピア横浜で3個人1団体への表彰式が行われ、柏崎副市長から表彰状などが贈られる様子も参加した加藤氏から披露された。



岩城会員挨拶 業界では長く、できることを一生懸命走ってきて今がある。このプロバス倶楽部設立15年になるが、私が55歳の時、松田先生ともプロバスの趣旨に共感して、横浜も参加したいということで、山手ロータリーの方々のご尽力でできたと思う。表彰を受けたが、不動産を一生懸命やって、そして人が大好き、ただそれだけできただけです。倶楽部へ来ると、真に学びの場で皆さんと親しくお話ができて、一つ一つが思い出になる。プロバスは自分の人生における優先順位で、とても大切な位置を占めている。そんな中で表彰を受けたが、まだまだこれからも頑

張れ、そして男性あつての女性として活かされていることを忘れはしない。活かされている女性は、しなやかさ・我慢強さ・温かさは勝るものがあると思うので、男性の力を借りながらまだまだ頑張りたい。こういう大事な席でご紹介頂き、心から感謝する。

理事会協議及び決定事項報告 ① 5月下旬に実施する15周年記念行事（移動例会と親睦旅行会）から移動例会を外し、15周年記念旅行会としたい。（決定） ② 次期の役員の人選は昨年度決定している。次の次はどうかを念頭に置いて欲しい。

15周年記念事業の件 15周年記念旅行会の説明をする。旅行日は5月21～22日、行先は水上温泉。参加者は22名。部屋割りは幹事が決める。ブルゾンはずっと持参する。集合場所等詳細は説明文で確認を。収支について説明。収入は参加費、会補助金、例会（五所川原旅行）繰越金。支出はホテル、往復昼食、カラオケ、バス（高速料、駐車料等含む）代、諸経費（往復車内飲食代、予備費）。記念旅行なのでおいしいものを食べて思い出に残る企画としたい。

（本日、平山氏と岡氏が参加申し込みをしたので、参加者は総勢24名となる。）

全日本プロバス協議会 中村会長が全日本会長になって半年、いろんな施策で横浜プロバスの存在が大きいということを実感している。各地で通年行事などがあって、いろいろ資料が送られてきているので、これをホームページに随時紹介をしたい。また、関東地域と甲信越地域で懇親会をやろうという計画がある。やはり身近なところが大切なので、皆さんよろしく。

同好会活動報告 にこにこコバンザメはにこにこクラブとコバンザメに分離。本日例会終了後、にこにこサロンを一年振りに行く。旅行会及びあるこう会予定なし。ゴルフOB会4～5月予定なし。6月、四街道から話がある。カラオケ同好会は今月予定なし。パソコン同好会は4月14日労働プラザで開催、今回はiPadを使って老人介護の可能性を検討。釣り同好会は4月21日野島公園で潮干狩りを企画、自由参加。

にこにこサロン （にこにこクラブ担当）

例会終了後、午後3時20分頃から午後5時近くまで、17名が参加して実施。アルコールも入って、サンドウィッチなどをつまみながら、和気あいあいの雰囲気での経過を忘れて懇談。にこにこサロンの名にふさわしい内容に、皆大満足。世話人の荻原さん、大久保さんご苦労様でした。



4月理事会 14名出席

（平成27年4月17日進交会館）

- * 5月例会の会員放談は、小西観祐氏お願いする。
- * 15周年記念旅行会の件・・・（松下実行委員長から）明日旅行社と最終打ち合わせをする。また、補助もいただいたので、支払い済ませる。行きの車中の飲み物はバス会社に依頼する。つまみ類も依頼している。ブルゾンは忘れないように。取りあえず、今後キャンセルがあることを踏まえて、22名で申し込みをしておく。（常備薬と健康保険証は忘れずに。）
- * 新会員紹介・・・（会員委員長から）是非若い人、特に女性の方の入会について、ご努力を願いたい。
- * カンボジャへの自転車寄贈について、倶楽部の社会貢献活動位置付如何と提起があった。会員からは有志の自主的なボランティア活動の位置づけでとの意見があった。

(5月8日 進交会館)

会長挨拶 箱根山と火山活動

箱根山が危ない。箱根山は今の学者の推定で500万年前にほぼ出来上がった。それはあまりにも古すぎるので、調べてみると1935年、今から約80年前に東京大学の久野久教授が箱根について猛烈に研究して、それによると1200年前に大きな地震があり、火砕流が横浜の方まで来ているということです。その時火山の降った噴煙が東京でも採集されていることが、ごく最近分かっているようです。箱根は1時間も遠く離れているから大丈夫と思っていても現実にはそういうことがあった。箱根山も難しい時期に来ている。つまり火山はだいたい1000年から1500年で噴火するから、久野教授の1200年前に噴火があったことがもし正確であれば、箱根は次の1000年になっている訳ですから、非常に難しい問題に立ち向かうことになると思う。神奈川県は箱根と湯河原に大きな温泉があるので、県は昭和36年に神奈川県温泉研究所を箱根のふもとに創った。温泉はどのような仕組みで出てくるのか、それまで科学的には調べられていなかった。神奈川県は全国に先駆けてそういうことを研究して、学者も沢山いる。箱根の入生田で今は温泉地学研究所となっている。温泉は火山と深いかかわりがあることが明らかになったので、現在の名称になった。明治天皇が東京御幸の途次、箱根の景観に感動され、国が落ち着いたらここに別荘を持ちたいとおっしゃった。明治の中ごろ、箱根に離宮(天皇の別荘)を造った。今も残っています。その当時、天皇の信頼の厚かったドイツ人医師のベルツ氏から、宮内庁は何考えているのか、いつ噴火してもおかしくない箱根に離宮を造るなんて、とんでもないと批判された。そこで宮内庁はどうしたらいいのかと伺ったら、ベルツ氏から、私が時々静養に行く那須がいいと言われたので、那須に御用邸が造られた。那須も火山近いが、幸いにして今のところ那須では大きな噴火は起きてない。箱根は神奈川県にとって大切なところで、年間1000~2000万人の観光客が訪れているとの統計もある。いろんな発表をしている気象庁には気象の専門家は多いが、地震なかつく火山の専門家はほとんどいない。そういう中で、何を根拠にやっているのか、箱根町の町長は存じ上げているが、彼は心穏やかではないのではないのかと思います。すでに旅館やホテルでキャンセルだとか、観光船も影響を受けているということだが、神奈川県は温泉地学研究所できちんとやっているのはいいと思います。実は、その研究所の前の所長はナマズの研究家です。かならずナマズは地震の前兆の時に跳ねるそうで、全国の地震の研究家に依頼してナマズを飼ってもらっている。飛んだり跳ねたりしたときは研究所の方へ連絡をと、大体において当たっている。ただ震度が大きいかどうかはナマズといえども判りません。異変があるということは、どういう訳か判っている。私も時々研究所に顔を出していたんですが、大変なことになってきたなあと思います。これから夏を控えて、箱根に別荘を持つての方にはどのように始末をなさるか等、考えておくことも必要ではないでしょうか。皆さんも今後の地震情報、火山情報には注意をしてください。

**誕生月お祝い品贈呈** (2名該当)

平野正弘、 岩田慎一の両氏 (平野氏欠席)
(岩田氏が謝辞を兼ねて一口スピーチを行った。)

贈呈式



(加藤会員委員長から岩田氏へ)

会務報告 (1) 各委員会報告 例会委員会から 我々が受け持ってから、本日の161回が最後の例会で来月は総会。皆さんの協力で、一年担当した司会の大役は終わりになる。会員委員会から 新規会員紹介について皆さんの協力を。情報委員会から ホームページの閲覧数が少ない様なので利用を。(2) 理事会協議及び決定事項報告 *6月2日野島公園でバーベキューの会の予定。*4月21日の野島潮干狩りには4名(岩田、關、樋口、松下各氏)参加。荒天翌日の肌寒い中、一時間半～二時間格闘して、アサリは少々小ぶりだったが思いがけない程採れた。*15周年の行事はブルゾンを忘れずに。*新会員の紹介は、昨年退会も多かったが加入もしている。時代に合わせて若い人でも入れる様に検討。*事務局から総会への資料の説明があった。来月の総会に向け資料を整えていく。

15周年旅行会の件 申込者キャンセルの場合のキャンセル料について説明があった。また、注意事項として、当倶楽部ブルゾン、健康保険証及び常備薬を持参のこと。ホテルの部屋割りは幹事一任を。各部屋のドア入口に利用者の名前を掲示。食事はグレードを上げた。旅行保険のため氏名年齢は提出する。飲食物は安価購入のための工夫をする。

全日本プロバス協議会 川崎西支部が創立10周年記念式典を6月10日に開催する。招待状がきた。

同好会活動報告 にこにこサロンは8月第3金曜日の理事会の後にとりろうで行う予定。ゴルフOB会 季節が変わって8月～10月辺りで富永氏の実家で泊まり込みで出来たらと。11月18日プロバスやまゆり会を鎌倉の担当で予定。カラオケ同好会 本日シダックスで予定。パソコン同好会 5月は休会、6月は第3週の16日。釣り同好会 6月2日バーベキューの会を11時から行う。潮干狩りは11:48分が干潮なので、本当にやりたい人は9時半に来るのがベスト。

5月理事会 出席者 11名 (平成27年5月15日 進交会館)

- * 第162回例会と定時総会について・・新役員の正副人事は、これまで1年間副委員長だった者が正となる。副は正に就任した者が選んでいくが、できるだけ役に就いたことのない者に依頼する。総会の席では副会長の後任は今後相談するにとどめておく(岩城孝子氏で調整)。これまで総会資料として人事案を出してなかったが、今回から出すことにする。
- * 15周年記念事業・旅行会 先日役員6名が集まって、買い出しの打ち合わせをした。車内や2次会の飲物を集合場所の近くのコンビニに依頼した。我々は出発日当日、7時半に集まってバスに積み込む。参加者1名減の21名。部屋割りが決定。カラオケはサービスで無料。
- * 今回退任する役員は一年間を振り返って、その感想を原稿用紙1～2枚程度にまとめる。
- * 川崎西プロバスから10周年記念式典の招待状が来た。会費制ならともかく招待となると祝い金を持参しなければならないが、相場の一万円となると負担が大きい。そこで今後、倶楽部を代表して招待され、祝い金持参の場合には一万円の半額五千円を会で負担する。

例会恒例の会員放談・特別放談

月例	講 話 者	紹 介 等	参 照
2 月 例 会	<p>須藤 照夫氏</p> 	<p>須藤氏は現在ボーイスカウトの地区委員長として青少年の健全育成に取り組まれている。本日は、小学5年生で出会ったスカウト活動から自らが受けた影響について話して頂いた。</p>	10頁
3 月 例 会	<p>畠 信彦氏</p> 	<p>フリージャーナリストとして、テレビ・ラジオで活躍中の畠氏が、宮川会員の紹介で来所された。日本を取り巻く状況について、私たちの興味あるテーマを選んで解りやすく解説して頂いた。</p>	11頁 ～ 14頁
5 月 例 会	<p>小西 観祐氏</p> 	<p>昨年入会の小西会員が、冒頭、「私は昭和33年生まれです」の出だしに会場からどよめきが。若いなあ、私より20歳も若いといった羨望の声も。当倶楽部最年少の住職から、私たちの関心の高い説法を頂きました。</p>	15頁 ～ 16頁

会員放談 (私の影響を受けたボーイスカウト活動)

須藤照夫会員

ボーイスカウトが出来たのは、1907年イギリス発祥、創始者はベーテンパウエル(英軍人将校)。スカウト立ち上げのきっかけはアフリカの戦地で、子供を斥候に使ったことから始まる。ボーイスカウトのスカウトの意味は斥候。この経験をもとにして、当時イギリスで荒廃していて少年の不良化問題に対処するため、アフリカで子供達を使ってやったこと、それを子供向けのゲーム本(スカウテング フォアボーイズ)にして全部で7冊発行した。子供達が面白いと遊ぶので、これは子供の教育の使えるのではないのか、ということが発端となり、最初20人の子供たちを集めて実験キャンプをやり、それで確信を持って組織化しスタートした。

ボーイスカウトの目標は良き公民・社会人を育てる。私なりの解釈では、思いやりがある、気遣いが出る、機転がきく、自分でものを考えられる人を育てる。これがボーイスカウトで何をやってきたのか、と聞かれた時に答える私の一言である。

世界連盟共通だが、定義、目的、原理、方法の4つがあり、原理には3つの「ちかい」がありボーイスカウトに入ると、指導者・子供にかかわらず自分に対して守っていくことを誓う。これをかみ砕いたものが「おきて」ある。誠実、友情に厚い、礼儀正しい、親切である、快活である、質素である、勇敢である、感謝の心をもつ。の8個で、「ちかい」を実践するためのもので、これが基本になっている。

方法論になるが、組織として子供達を最大で8名位の班を作り、1隊は4個班、指導者8人、隊は最大40人で構成する。年齢に応じて取り組む進歩課程があり初級から富士の6段階に分かれている。初級の基本動作から始まり、年齢ごとに高度な技を進歩させるため、班対抗のゲームを行う。勝った方は褒める、負けた方には残念だった、次頑張れ。その繰り返しをやる。活動を通しては、キャンプでのテントの組み立てはどっちが速いか、炊事はどっちが美味しく上手に早くできるか等々、競争させる。こうした年代と共に覚えるべき技と共に、もう一つ技能章と言う選択科目がある。自分の興味を持ったことを掘り下げていく。例えば水泳、炊事、測量、スキー、わら細工、園芸、裁縫等々、全部で60を超える科目がある。自分の興味を持ったことを掘り下げた成果が、できれば将来の職業に結びついてくれればと考えている。ボーイスカウトは子供が自分で考えられる人間、自立できる人間に育てていこうという団体である。

私がボーイスカウトと出会ったのは小学5年生で、同級生からキャンプに誘われ参加したのが最初ですごく楽しかった。また、翌日伊勢佐木町のパレードにも参加して、これは面白いと言うことで団員になった。中学2年生の時など、所属する団のキャンプ場に1年間53泊した経験がある。

高校時代はボーイスカウトから距離を置いた。入学後、友人と水泳部を創り初代キャプテンになり、部をまとめるのにボーイスカウトの経験を活かした。新設のクラブだったので遊び感覚で大勢入部してくれ、1年目から試合ではいい成績を出した。3年目の時は男女とも1位になり、市大会で総合優勝するまでになった。高校卒業後も、指導者を育てる神奈川県のカブスカウト講習会を1期から10何期かまで手伝っていたが、引き続き水泳は大学2年までやっていた。

大学2年(20歳)で水泳をやめたのは、ボーイスカウトの指導者講習会、研修所を出て、ボーイスカウトに興味に向いていったからだった。また当時例のない若さ、最年少で実習所を終了した。40歳位で指導者を支援する役割のコミッショナーの研修所に行った。そこで、私の実習所28期終了が年齢的に三桁でないことに他参加者から驚かれたことが印象に残っている。

特別放談

ジャーナリスト 畷 信彦氏

いくつかのテーマに分けて話します。

一つは今日株が1万9千円円台につけて日本経済が回復してきた。2万円が山になって更に行くのか、一段落するのか、そこが大きな境目かなという気がする。たぶんもうすぐアメリカが利上げをする。日米の金利差が広がって円高の可能性により株安の可能性も、それをみんながどう見るのか。今株価は上がっているが、投資の6割から7割は外国人、日本人が買って上がっているのではない。日本人はバブル崩壊を経験しているので非常に慎重になり、生活も健全である。そのために消費もなかなか増えない、工場も作られない。もう少し長い目で見ると、日本は人口が減っていく。2050年には9千万人を割る。今から3千万人減るということ。年間平均で60~70万人位減る計算になる。一県60~70万人の鳥取、島根県の人口が年々減少していく。いま日本の出生率1.4位がこのまま続くと2100年の人口は4100万人になる。とんでもなく小さい国になる。人口が減るということは、成長も輸出等がなければできないということになって、そういう先行きに対する不安もあると思っている。これからは日本は内需を国内と思わず、アジアが内需対象と思えばいい。こうしていかないと日本の経済はかつての様な元気は取り戻せないと思う。

もう一つに安倍首相の政局の問題。安倍さんが何で今こんなに強力なのか。安倍さんが前に辞めたときは、二度と立ち上がれないだろうと皆は見ていた。その後に福田、麻生内閣、選挙に負けて鳩山、菅、そして野田政権が出てきた。党内にベテラン議員がいなくなった。安倍さん自身は当選回数からいっても、相当上になっている。本人も、ああいう辞め方をしたので、もう一回チャンスが来るだろうと、臥薪嘗胆でその間4~5年いろんな政局を勉強してきた。佐藤内閣はなぜ長期政権に、田中内閣の人事は等々、戦後の長期政権と言われたところの人事の動かし方とか、党内の動かし方とかを学んできたことにある。

もう一つは外交で2010年に中国に追い抜かれ世界第2位経済大国から第3位に、アジアでも2位になり、人口減もあり日本人は自信を失い内向きになっているときに、安倍さんは外交に力を入れた。今まで一年間に約50回海外に行っている。海外の首脳とも約100回から120~130回の首脳会談を行っている。海外の首脳を知ることで自分の位置づけがひけを取るものでないと、自信を付けてきたこともあると思われる。それとあまり知られたことでないが、自分は演説が下手だと思っているので、非常に練習をしている。海外に行く時は、英語を事前に相当練習をする等、隠れた努力もある。自信を持っている。今安倍さんに対抗できる政治家はどんどんいなくなった。今度、4月に地方選があり、9月に総裁選がある。そこで再び選ばれる。来年は参議院選挙がある。これに勝つとあと4年位はやるのではないかとみられている。彼は祖父の岸元首相の業績を何とか超えたいと思っている。だから安全保障に熱心、ただ声だかに言うと右寄りメディアにたたかれるので、大きな声では経済が一番と言うが、経済のことはあまり成果が上がっていない。

黒田さんの金融緩和で株高になっているが、あまり成長戦略でも成果は上がっていない。

安保のことは口ではあまり言わないが、安保関係の法整備などはどんどん進んでいる。自民党は党是として憲法改正をだしている。日本の政治はもう一遍日本人が考えて、日本に遭ったものを造らなければならない、と言うのがずっと自民党の中にある。戦後の70年間で日本は憲法や民主主義等で発展してきたから国民の間に定着しているが、そういうことに対して、もう一遍戦後秩序を見直そうと言うのが、安倍さんの根底にあって岸さんの思想でもあった。日本が安全保障の面や憲法、教育の問題等すべてに亘ってアメリカによって引かれた路線、それをもう一遍自立しようと言うのが彼の根底にあるのではないのか。しかし日本は長い間の中で、これだけ経済が豊かになったということで、なかなか国民に理解されない。憲法だって今のままでいいじゃないかと言うのがかなり多い。そこを少しづつ変えていきたいと言うのが、彼の発想なんだろう。

そういう意味で言えば、これから経済がどうなるか、ということはあるが、彼が本当に力を入れていくのは、安保法制、安全保障、周辺事態等への自衛隊の派遣とか、相当従来の安保の考え方とは中身が変わってきている。公明党が少し危険だ、右に偏りすぎていると一生懸命抑えているが、一年か、一年半位掛ったところで、そういうものが出来上がっていくのではないのか。それが安倍さんの自分の政治使命だと言う風に考えているのではないかと言う感じがする。しかしながら政治は一寸先は闇と言って何が起こるかわからない。経済についても景気は上がってきているが決してそんなに良い訳はでない。株価も上がっているが今年は多分マイナス成長、思ったほどよくない。大企業はいいが中小企業の方まで景気回復の波がきている感じがしない。これがもっと続くようになると不満が出てくることはある。

もう一つはイスラム国の問題。この問題は、日本と関係ない中東とアラブの問題の話とみていた。この間、安倍さんが中東訪問して、ヨルダンに2億ドルの人道支援をすると表明したが、イスラエルを訪問した時、罪を犯したものに償わせるのだという言い方をした。償わせるという言葉は欧米の新聞では、リベンジ(復讐)と訳された。それにイスラム国が非常に反応して、日本は十字軍の仲間に入ったのか。世界中のどこに居ても日本人も例外ではないということになってきた。日本は世界の自由連合の一番弱い所なので、海外などで日本人が人質事件などに遭えば、やはりあまり右寄り過ぎるとかえって危ない種を拾ってしまう可能性がある。海外に行っている企業の人達は、いつ何が起きるのかわからないので相当注意をする感じになっている。日本人も危なくて海外旅行に行けないという雰囲気は何となく出てきている。従来日本とアラブはいい関係にあった。石油ショックが起きたとき、日本はアラブより外交をやるのか、油より外交をやるのか、非常に問題になった。時の田中首相は油より外交をやった。それで石油メジャーが日本への供給を少なくすることをやり始めた。そのためアラブ諸国から直接石油を調達して買えるようにしたり、海外の石油開発をやった。これをアメリカ側から見ると、今までの秩序を壊すことになるために、アメリカの虎の尾を踏んだ内閣は短命に終わったという背景があった。そういうこともあって日本とアラブはいい関係にあった。アラブの人達も欧米と比べいい関係にあると見ていた。今回の件で十字軍の一員か、アメリカ有志連合の一員かと、イスラム国が言い出していることは、なんとなく気になるところかなという感じがする。

もう一つ、最近歴史認識が盛んに言われている。歴史認識とは戦後の秩序を見直す言う話だ。歴史認識は日本だけの問題ではない。例えば、イギリスのスコットランド独立問題、火種は残っている。世界はグローバル化しているが、一方でナショナリズムは燃え盛っている。スペイン、イタリア、ベルギーでも内部の裕福な地域が税金の使途を巡って独立の機運が盛り上がっている。

歴史認識は日中韓の問題だけでなく、世界中で問題が起こっていることを認識しておくことが大事だ。今イスラム国はイラクとシリアの間に国で一つの国を造ろうとしている。昔は中央アジアやアラブも砂漠の民で国境などなかった。それが100年ぐらい前にイギリスとフランスがサイクトピコ条約を裏側で結んで勝手に国境線を引いた。そこは油が出るから、アメリカも加わって中東をわがものにしようとした。イスラム国のやっていることは、非常に残酷で許すことが出来ない訳だが、背景にはこうしたことがある。もう一度100年前の時代に戻そうと言うのが、イスラム国の思想というか文化というかある。だからわざわざイラクとシリアの間またがる国を、造られた国境は無視するという意味合いも持っている。彼らの将来像はサウジアラビアなども一つの国に、がイスラム国の発想だ。ところがアメリカは中東から軍隊を引き揚げてしまったため、新たに中東で戦争をするのを嫌がっている。アメリカは大戦後戦争ばかりしている。その結果戦争に嫌気をさしているという国内事情もある。戦争は陸軍が出て相手の首都を落として、そして降伏ということにならない限り終わらない。今アメリカは無人の戦車、無人の爆撃機で人の死なないような戦争をしようとしている。ミサイルももう2~3000発撃ち込んでいる。いくら空爆しても軍隊出していないから領土を確保できない。その軍隊はイラク軍の残党とクルド族が出ている。これまで痛めつけられてきた少数民族のクルド族はある程度戦果を挙げてくると、そのうちクルドの共和国を造ろうという動きが出てくる可能性がある。その時トルコ、イラク、イランがどう対応するのか非常に問題である。

日本は2010年に中国に抜かれてなんとなく自信を喪失、そして失われた20年もあって、これから日本はどうしたらよいのか、日本人全体がどうやって世界の中で生きていったらよいのか、ということが問われている。1960年代から95年位までは経済大国ということが日本のアイデンティティだった。しかし人口がどんどん減っていくことになれば、日本の経済大国と言う地位は多分ありえないだろう。それでは政治大国になるかというところほとんど不可能、軍事大国も不可能、そうなる日本は世界の中で何を自分の存在感として求めていくか、ということが日本の今後の大きなテーマになると思う。ただ日本は素晴らしい国だし、地理的条件も四季に恵まれているし、世界から侵略される危険性も少ない、日本人は人間の資質としても、教育熱心だし、儉約をし、努力をし、そして他人にも親切だと言うところもあるし、一方で技術とか文化と言う点でも環境技術、ナノテク、ハイテク、医療衛生技術とか強くなってきている。なんといっても美意識とか、こういうものも世界で比べたら圧倒的に高い。日本人の底力はものすごくある感じがする。アメリカもベトナム戦争に負けてそれから失われた20年があった。1970年80年代ヨーロッパも老大国などと言われ、失われた20年があった。ところがアメリカは90年代の後半からインターネット、資源開発、バイオなど新しい産業を造ることによって、再び世界経済の覇権を握り始めてきた感じがする。ヨーロッパはEUを造り、人と物と金の移動が自由になった。

日本は60年代から90年代当時は、アメリカやヨーロッパの衰退、韓国、中国はまだ出てこないで日本の独り舞台だった。こういう状況でバブルは崩壊したが、日本はまた元に戻れると思っていたが一向に改善しなかった。95年位になって世界の構造が変化したのではないかと気が付き始め、その頃から新しい企業経営とかビジネスをやり始めたところほうまくいっている。そうでない所は次々と倒れていったのが実情でないかと思う。バブル崩壊寸前の1990年は世界の株式の時価総額のベスト20のうち14社が日本企業だったが、これがほとんどなくなっている。今後日本はどこに期待をかけるのか。今見ていると大企業よりも中堅中小企業の中に面白い企業が沢山あると感じる。そういうところがこれからの日本の中心になっていくと思う。

ソニーだってホンダだって戦後15～6人からスタートした。そういう点でいうと、今の大学生は大企業に入りたがるが、20年もすれば合併しちゃうとか、経営が行き詰るとか、いっぱい起きてきている。銀行がその典型だと思う。これからは中堅中小企業の中で、世界のシェア40%、50%持っているところは相当出ている。しかも41～2歳以下の人達で新しいベンチャー、戦後のソニー、ホンダみたいなものを作るところが増えている。最近、学生もだんだん判ってきて、そういうところを探そうという機運が盛り上がっている。そういうことになると、日本ももう一つ安心してやっつけけるんだという感じがする。人物的にも、日本人の資質としても良いものが沢山あると言ったが、今の日本経済の強みとしては、クールジャパンとか、農業とか、農業は自給率が低いと言われているが、生産額で言えば、ドイツ、フランスと変わらない世界第3～4位にある。日本は人口は減ってきているが、文化とか、技術とか、歴史伝統とか考えると、世界に対してものすごく存在感を示すことが出来るのではないかと感じる。

これからの生き方の中で大事なことは、友人をたくさんつくることではないかと思う。できれば友人を50人位つくってくださいと言っている。そういうことをしていれば、リタイヤ後等も楽しい人生を送れるのではないかと思う。「親友」と言う言葉があるが、別の漢字で「誠友」「信友」「深友」「心友」「震友」「新友」になる。これらの友を本当に親しい友達にしていくのが、これからの大事なことと思う。私は震災後三陸を2日間かけて通して見たが、どこが物凄く活発か、そうでないか、よく見えた。活発にやっているところは、姉妹都市たくさん持っているとか、そこに住んでる人達が友達をいっぱい持っているとか、そういうところにはボランティアが集まる。そういうところはない所は、政府に頼ることになる。地域も、企業も、個人もそれぞれ友人をたくさん持つということが人間を豊かにしていくのではと思う。サラリーマン人生というのは、友人と言うと損得、技術、担保、お金、こういうつながりだけで友人関係を造っているけれども、5～10年すれば切れてしまう。そうでなくて、お互いのコミュニティの精神を持っていたり、あるいは奉仕の精神を持っていたり、人間の品性を持っていたり、こういうものを持っていると、長い友人の付き合いができるのではないかと思う。皆さんはこういう会を大事にして楽しい人生を送っていただきたい。



紹介する宮沢氏



先生を囲んで

私は昭和33年の10月の生まれです。私は日蓮宗本正院の住職をしており、そのお寺は南区の南太田にあります。京急の南太田駅からドンドン商店街を上って行くと、昔の高商、国大経済学部の跡地に青陵総合高等学校があります。その坂の途中にある小さなお堂の住職です。初対面の方にお寺の住職ですと言うと、さも歴史が古いと思い、今何代目ですかと聞かれます。日蓮宗ですから、日本に仏教が伝来して一番古いのが平安仏教で、最澄さんの天台宗、空海さんの真言宗。その後の鎌倉仏教の中の一つが日蓮大上人が草創なされました日蓮宗ですけれども、同じ鎌倉仏教の中には法然さんの浄土宗、親鸞さんの浄土真宗もある。また臨済禅師の臨済宗、鎌倉期には、いろいろな仏教が中国、シルクロードから朝鮮半島を経由して日本に伝来しました。日本仏教の中で鎌倉期が、一番花開き多くの宗旨・宗派が出来上がった訳です。本正院はそんなに古くなく、戦後の昭和22年に私の父の前が尼さんで、黄金町辺りで教会をやっていました。戦後まもない焼野原が点在するような所であったので、黄金町から南太田の現在地に移転しまして、当初のスタート時は名称もお寺の本正院でなく、横浜妙行教会という教会でした。そして、尼さんが教会の担任として檀信徒や一般の方の伝道をしていました。その尼さんが昭和33年に亡くなった後を私の父が継ぎました。私の父はお寺の出ではなく、愛媛県の漁師の息子として生まれたが、兄弟が多いので貧しいおそらく半農半漁のような家だった様です。父方の父や祖父が非常に熱心な日蓮宗の信仰を持っていた方だったことや、おそらく経済的な事情もあったと思いますが、私の父は幼い頃から日蓮宗のお寺に弟子として住み込み、お経やお説教の勉強をして研鑽を積んでいました。スタートは四国の愛媛県ですが、その後同じ愛媛の今治とか、山口の萩、大阪とか日蓮宗の大きなお寺で弟子の一員として、朝起きればお勤めをして庭掃除をして一般的なお寺のお手伝いをしながら生計を立て、そして横浜にご縁でまいりました。そして先程の尼さんが亡くなった時に、私の父の師匠の方から、尼さんの後を継いでくれということがあって、昭和33年の頃現在地に移りました。当初は横浜妙行教会という教会だったが、昭和48年寺院の名前を本正院として、所轄の県の私学宗教家に申請して、お寺として公に名乗ることを認められました。私の父である先代が平成3年に70歳で亡くなりました。そこで平成3年から、私が住職を継承しまして現在に至っている訳です。皆さんには漠然とちょっとタブーの部分もあるが、皆さんももし万一のことがあったらどうするかと、感じるが多くなっているのでは。中にはすべて奥さんにまかせっきりで、家のお墓はどこにあるんだろう、家のお寺は何宗だろう、と知らない方がたまに居ます。大概、突然亡くなる人は少なく、だんだん皆さん病を得て少しづつ体が弱くなっていく。そんな時奥さんは、ご主人になんとか良くなって欲しいと一生懸命ですから、まさかのことをあまり考えていない。万が一のことが起こってご主人が臨終を迎えたとき、私も経験があるが頭の中が真っ白になってしまい、何をしたいか、どこから手を付けていいか、しばらく呆然としてしまう。とにかく一日も長く生きてもらいたい、少しでも元気になってもらいたい一心でいたのが、突然死を迎えてしまう。そんな中で、時間が経つとお通夜とお葬式をやらなければなりません。その時に備えて、しっかりとお寺は、お墓はどこにあって、万が一が有ったら誰々に頼んで等、事前に確認しておくことが必要なのかなと思っています。

生前から、ご主人が万が一の場合の指示を詳しくしている方もいる。しかし、万が一を思うこと自体、自分で認められないのが普通の人間の常だと思う。がやはり大事なのは、万が一をきちんとされておくと後々の方が少しでも困らなくなるし、負担軽減にもなります。特定の菩提寺やお墓がなければ、お通夜・お葬式をするとなると、葬儀屋に依頼して日取りを決めて行う。ただ最近は家族葬が多くなって、とにかくご身内だけで済ませたいというご檀家もいます。ご近所の方に訃報のお知らせをどうされるのか、確認のためお聞きすると、出さないつもりとの話が多い。家族葬とか、密葬といった言葉を使ったりしますが、密葬というのは本来、本葬が前提にあってお勤めするのが密葬です。なぜ密葬、本葬と分けるのかというと、今は亡くなくても、ドライアイスを入れたら棺の中に入れても4～5日間ご遺体をそのままご安置できます。昔はそういうことが出来なかったもので、ご交友やご親戚関係の方が多く場合など、お通夜・お葬式の日取りは皆さんのご都合を、と言ってもすぐには決めかねる。取りあえず密葬という形をとってそこでご遺骨にして、しばらくご自宅にご安置する。その間に本葬の日取りを決める。とにかくご遺体を茶毘にふして、改めて仕切り直しをして本葬という、速くて三十五日忌、又は四十九日忌、百か日忌、その間に日取りを決めて、また、仕事・交友・親戚関係のどの範囲まで呼ぶのか等、下準備が大変なためどうしても密葬から本葬までの期間が長くなる。その他密葬・本葬のケースでは、地方から出てきて横浜に自宅はあるが、先祖代々の実家のお墓が田舎にある。そういう場合は、横浜の地元で茶毘にふして、お墓のある郷里で三十五日忌あるいは四十九日忌に改めてお葬式（本葬）をして埋葬することになる。先程申し上げましたが、町内に訃報も出さないで密葬で家族だけで送った。しかし密葬後、亡くなったことを人伝に聞いて、予告なしでお見えになる方が多くて、それはそれで結構大変だということを知ります。密葬はきちんとした葬儀です。ご葬儀をするんだから、できればご案内をしてあげた方がいい。来る来ないは相手の方の判断ですから、私は申し上げます。故人の手続き等、後々の整理がそれでもなくても大変なのに、ご会葬の方が急にお見えになるというのは負担になります。密葬は基本的にお身内の方だけでかまわないですが、できれば周囲にご案内をされた方がよろしいかと思います。

この辺は久保山の火葬場が近い。久保山火葬場でお葬式をやろうとすると、比較的亡くなる方の少ない時期でも4～5日待つこととなります。それでもまだ早い方です。亡くなる方が多い寒い時期になりますと、お葬式の日が初七日になってしまいます。最近は専門の葬祭式場を借りてお通夜・お葬式をする方が多い。式場の担当の方の考えは、まず式場から一番近い火葬場はどこだろうということで、火葬の予約が取れるかどうか確認を取る。久保山が一番利便性がいいので希望する時間は埋まっている。幸いあったとしても、午前9時とか、午後2時とかになってしまう。一日も早くお通夜・お葬式をしたいとなれば、横浜には市営の火葬場が4か所（久保山・北部・南部・戸塚斎場）と西大口に民間斎場があるので、場合によっては式場の最寄でなくても、他斎場で速く火葬できる等お施主さんのご意向に沿うこともできます。とにかく亡くなったということになると、施主（主人役）は頭の中が空白になってしまいます。できれば葬儀屋さんとお施主さんとの打ち合わせの場に、ご親族の方も同席していただくとご相談できるので、どんなに心強いのかと拝察する次第です。

第5回神奈川県プロバスクラブ交流ゴルフコンペ

(当番・横濱プロバス倶楽部)

日時 3月16日(月) 8時20分集合 場所 太平洋クラブ相模コース(神奈川県秦野市柳川大峯)

参加人数 28名(内訳) 横濱(10名) 横須賀(7名) 鎌倉(4名) 川崎西(4名)

コンペ

横浜グリーン(3名) (今回から新たに、川崎西、横浜グリーンが参加)



受付

28名が7組に分かれ、一組目が9時スタート。曇りで若干肌寒さを感じるけどの陽気で、コンディションは問題なし。後半の2時過ぎ頃から雨模様となり、七組目の終了が3時半、雨の影響も危惧された。しかし、さすが豊富な知識と経験に

裏打ちされた各メンバーにも負けず、起伏に富んだコースを克服して、素晴らしい?スコアでまとめられました。初対面で力量も不明なメンバー同士が、プレイを通して楽しく笑い興じる一日となりました。

パーティ

一緒にプレイした組ごとに席に着き、コーヒーとケーキを摂りながら歓談

当番の横濱プロバスの加藤氏の司会でまず代表幹事の関口氏から、本日5クラブから28名と大勢参加し、コンペの進行も全員の協力により大成功だった旨の挨拶があり、また、今回から参加した横浜グリーンと川崎西、両クラブの紹介とメンバーの自己紹介があった。

あった。寄贈者である横濱の青木氏からは、まず昨年11月23日の全日本プロバス協議会総会の協力への実行委員長としての謝辞があった。そして、今後、大のカップは優勝者のクラブの持ち回りで、この交流コンペは年間2回位の開催をお願いしたいし、優勝者に贈呈するレプリカ(小カップ)も2年分用意してある旨の話が合った。

続いて、当交流ゴルフコンペに優勝杯の寄贈が

成績発表等

栄えある優勝トロフィは鎌倉クラブへ

優勝 鎌倉クラブ 武智 昭氏から

私は5回のコンペ皆勤ですが、賞には縁がなかった。今回は、隠しホールに当たり、パーであがった3回はハズレだったから。今年は良いことがある。プロバス、人生の後半で素晴らしい人たちに出会えた。気心知れた、良識ある仲間と楽しく伸び伸び交流する。大切にしたい。皆さん、鎌倉にお出てください。ゴルフで大いに交流しましょう。よろしく。

主な表彰者(敬称略)

優勝 武智 2位 加藤 3位 岡島 4位 志田 5位 牧野
BB 山下 BG 加藤 NP 志田(2)、加藤、関口

その他

- ① 交流ゴルフコンペ開催を毎年3回から2回にする。
- ② 次回の第6回コンペの当番は、鎌倉クラブ。次回は11月18日(水)の予定。
- ③ 当ゴルフコンペの新名称 「プロバスやまゆり会」 に決定



(青木氏から武智氏へ授与)